

児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんが
支援プログラム（参考様式）

作成日 2025年 3月 1日
 (別添資料1)

事業所名	子どもたち一人ひとりがステキな自分をみつけ、未来に向かって大きく羽ばたいていくこと		
法人（事業所）理念	子どもたち一人ひとりがステキな自分をみつけ、未来に向かって大きく羽ばたいていくこと		
支援方針	利用児がその子らしく、可能なかぎり地域に継続して生活ことを念頭に、日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるように適切な支援を行う		
営業時間	9時	0分から 18時	送迎実施の有無 あり
健康・生活	日課など、視覚の手掛かりを用いながら見通しを持てるように支援する 意思表示が困難な子どもたちの小さなサインから身体の異変に気づけるよう健康状態の把握を行うとともに、思春期等における体調不良等について大人に伝えられるような手段の獲得を目指す 自分の持ち物を意識できるよう促しながら、身辺整理ができるよう支援する		
運動・感覚	リトミック等を通して、身体感覚や感覚を刺激し、運動機能、姿勢、バランス感覚、過敏の軽減、力の強弱、距離感などの成長を促す 緊張、弛緩などの身体をコントロールする練習を積み重ねるよう支援する		
認知・行動	個の特性に合わせて個別支援を実施 視覚、聴覚等の感覚を活用しながら、情報を収獲し認知機能の発達を促せるように支援する（集団活動） 物事の優先順位をつける練習を積み重ねながら自ら見通しを持てるように促す		
言語 コミュニケーション	自ら決める（やる、やらない、したいこと等）練習を積み重ねながら、子どもの自主性を育むよう支援する 場に応じた行動をみつけられるようSSTを通して気付きを与え、自ら行動を変えられるよう支援する 会話の幅が広がるよう、いろいろな経験をことばにする機会を設けながら語彙の獲得を目指す		
人間関係 社会性	設定活動を通して集団でのルール、マナー（順番、待つ、聞く等）を知り、獲得できるよう支援する 場に応じた行動をみつけられるようSSTを通して気付きを与え、自ら行動を変えられるよう支援する 話し合いの場を意図的に設けながら相手を尊重する、がまんする等のマナーを身につけられるよう支援する		
家族支援	保護者からの困りごとに対する相談、助言 子どもへの関わり方への相談、助言（ペアレントトレーニング） 保護者参観週間を通して、保護者間の情報交換の場の提供	移行支援	学校等の情報提供 就労先、進学先進路についての相談、助言 就労先への情報提供
地域支援・地域連携	各関係機関（学校、相談支援事業所、他事業所等）への連携 地域の児童館等への外出を通じ、地域の方との交流を図る	職員の負の向上	週1回の社内研修 支援会議の実施 外部研修への参加
主な行事等	季節に合わせた行事の提供（花見、水あそび、七夕、夏のお泊り会、ハロウィン、クリスマス、お正月、豆まき等） 避難訓練 3回/年 誕生会、保護者参観週間		